

セカンドステージを全勝で終了
ファイナルステージ [準決勝] へ進出いたしますオービックシーガルズ
社長兼GM
並河 研

いつもオービックシーガルズを応援いただき、誠にありがとうございます。
おかげさまで、オービックは2010年秋季リーグ戦の「ファーストステージ」と「セカンドステージ」を全勝で終え、準決勝である「ファイナルステージ」へと進むことになりました。重ねて御礼申し上げます。

社会人選手権である「JAPAN X BOWL」へ出場するチームは、ファイナルステージに進出するオービック、鹿島、パナソニック電工、IBMの4つに絞られました。オービックは、12月5日(日)に鹿島と対戦します。ここからは完

全なトーナメント戦であり、まさに一戦必勝の試合となります。
春にシーズンインしたとき、今年のチーム強化方針として「選手ひとりひとりが伸び伸びと個性を発揮し、かつ、勝ちきるチーム」を掲げました。過去3年間、同じ相手に敗れてシーズンオフを迎えたことを省み、「勝つチーム」ではなく「勝ちきるチーム」とし、ここまでやってまいりました。いよいよ、その集大成を果たすときです。
引き続き、さらなるご支援、応援を何卒よろしくお願い申し上げます。

【セカンドステージ・レポート】

ビッグプレーと大量得点で2戦全勝

第1戦 11月7日(日)王子スタジアム

vs.吹田マーヴィーズ

関西でのアウェーゲームに快勝 オービック 56-2 吹田

神戸・王子スタジアムで、普段とは違った環境下での試合。吹田が最初の攻撃シリーズでダウン更新が出来ず蹴ったパントをWR#83 清水が42ヤードのビッグリターン。試合開始早々のチャンスをRB#20 古谷(拓)の7ヤードのタッチダウンランにつなげ、先制します。ディフェンスも力の差を見せつけ、吹田のパスをDB#8 渡辺がインターセプト。反撃の隙を与えません。この後も守備陣は集中力を欠かさず、吹田の攻撃をことごとく防ぎました。QB#6 菅原、#7 木下の2人によるゲー

ムメイクで、順調に加点するオービックオフェンス。勝ち越すには十分な点数を奪って迎えた第4Q。DL#11 ジャクソンが相手のパスをインターセプトし、そのままタッチダウンするビッグプレーも飛び出し、この試合を大差の勝利で終えました。

オフェンスは412ヤード、6TDを奪う猛攻で、好調ぶりをアピール。また、守備陣も吹田の獲得ヤードをオービックの3分の1以下(131ヤード)に押さえ込み、攻守のバランスが取れた内容でファイナルステージに王手をかけました。



DB#24矢野川は2インターセプトの活躍 安定感抜群の司令塔 QB#6菅原



アウェーでも満員のオービックスタンド

第2戦 11月21日(日)横浜スタジアム

vs.IBM BigBlue

序盤から圧倒してファイナルステージ進出 オービック55-27 IBM

第1Q、K#1 金親が26ヤードのフィールドゴールを成功させて先制します。第2Qに入ってRB#21 杉原、RB#35 山崎の活躍で1st ダウンを連続獲得。山崎が1ヤードを走りきって追加点をあげます。さらに杉原のランでタッチダウンをあげ、リードを広げると、前半最後のIBMがフィールドゴールを狙ったプレーでディフェンスのビッグプレーが飛び出します。キックされたボールをディフェンス陣がブロックし、そのボールをDB#16 三宅が拾い上げて敵陣に走ります。一度はブロックされるものの、真横にいたDB#14 藤本にボールを

トス。藤本がそのままエンドゾーンまで走りきって、タッチダウン。試合を決める追加点をあげました。

後半、IBMのキックオフリターンタッチダウンなどで反撃されますが、守備陣が要所を抑え、攻撃陣も手を休めることなく攻撃し、55-27でIBMを下しました。

また、試合終了後の抽選会でファイナルステージの4強が出揃い、対戦チームが決定しました。いよいよ、オービックシーガルズはファイナルステージ準決勝で、去年の覇者である鹿島ディアーズと対決します。



RB#35山崎が力強いランで2TD



65ヤード独走TDを決めたQB#7木下(雅) DB#4町のインターセプトで試合終了



ゲームMVP (コーチ選出)

Offense MVP
RB#20 古谷拓也

14回 122ヤード、2TD。3Qには47ヤード独走 TDを披露。試合を通じてランオフェンスを牽引した。

Defense MVP
DL#11 ケヴィン・ジャクソン

素早い反応でものにしたインターセプト&TDは、ディフェンスチームとして今季初のスコア。

Kicking MVP
WR#83 清水 謙

試合開始早々に42ヤードのパントリターンでチャンスメイク。4Qには45ヤードを駆け抜けバントリターンTD。

ゲームMVP (コーチ選出)

Offense MVP
OL#75 宮本 士

センター、タックル2つのポジションで常に高いレベルのパフォーマンスを披露。7つのビッグブロックを記録。

Defense MVP
DB#14 藤本将司

安定した基本動作で相手のビッグプレーをことごとく潰していった。結果、2つのインターセプトを獲得。

Kicking MVP
DB#16 三宅剛司

相手のフィールドゴールを激しいラッシュでブロック。そのままボールを拾い上げ、リターンをお膳立て。

Kicking MVP
DB#14 藤本将司

フィールドゴールブロック後も冷静にプレーを続行、快足を生かしTDにまで結びつけた。

メインスポンサー

システムインテグレータの **オービック**

オフィシャルスポンサー



オービックシーガルズ マンスリーレポート11月号

発行人/並河 研
編集/渡部滋之
制作・デザイン/高木慶太
文/渡部滋之、藤川了輔
発行/株式会社OFC
〒275-0024 千葉県習志野市茜浜3-6-3
tel: 047-452-2224
http://www.seagulls.jp